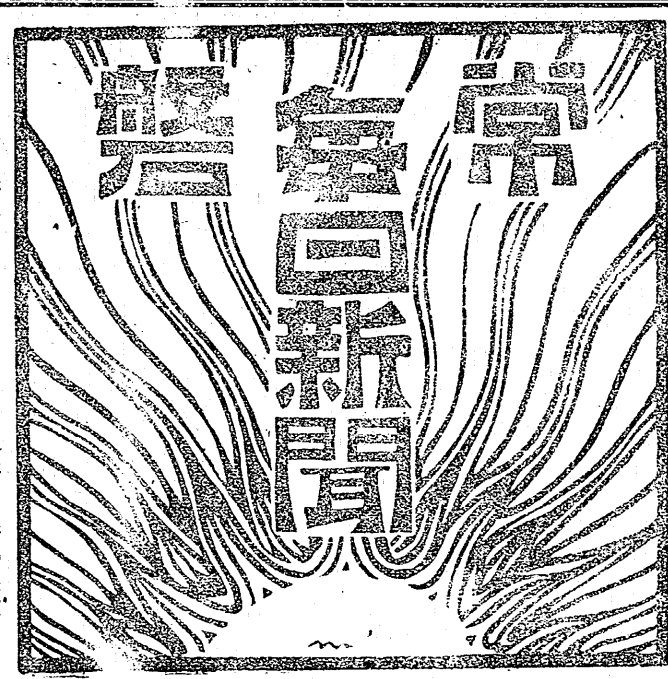


日刊 發行兼編輯人 川崎文治 本社下町番地(電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所



刊夕日十月六

定 一前金貳錢 廣 五字十二行 依 日曜大祭 祝日 翌日 福島縣石城郡平町長橋町三五 發行所 常盤毎日新聞社 電話六三〇番

寄 書

二つの念願 (一) 朝鮮 佐田至弘

日本は最近まで世界一の離婚として有名であつた

民法實施前ごろの、結婚媒介の報告的なものを讀むと二つに一つしか治まつて行かないとあるから、結局結婚の半分は破綻の嘆を抱いて離婚になつたものと見ることが出来る

然し、民法が實施され女子教育が普及されるやうにな

つてからは次第に離婚率が減じて、結婚八に對して一の離婚率となつたと書いたものもある

だが實際研究をすると遙かに實数は多くなつて來るにちがひない

日本には内縁の夫婦といふものがある、殊に朝鮮にはそれが多く、この内縁關係は法律上の結婚でないから離婚した場合は、何事も暗から暗で、統計上には現はれて來ないのである

これらを詳細に調べたら、事實に於て日本の離婚率と

いふものは、結婚五に對して離婚一と推測するに難くはない

この離婚率から考へてみると、その残りの五分の二は家庭不和、更らに五分の二はやゝ不快な家庭、やうやく五分の一だけが先づ平和な家庭である

如何に家庭愛といふものがみだされてゐないかを思へ驚く他はない

この點お互の問題として考へて見なければならぬことである

全 遠藤兄弟

平町新町電話

温 體 確 計 關 内 藥 局

電話三〇番

初夏 本年流行

婦人洋傘
ワイシャツ
ネクタイ

各種 ツルヤ

四丁目 電話百四十番

和久井屋 五番

五月二十八日 十月六日 日曜

出 品 品 類 贈 答 的 節 制

すま上差品景粗上以圓五金一買御
いさ下越御非是

耳鼻咽喉科専門

場所 (舊診療所裏通り)

合津醫院

平町仲田町(電話五五九)

正札堂

いや……君、見違ひたよ
いゝアイギを求めたね
いやコレカネ……
例の「ツレ」
アハ……

平町三丁目 電話三十八 七五一番

三井吳服店

中形浴衣陳列

五月二十日 最新流行柄を澤山取り揃へて

婦人俱樂部浴衣
名刺好み浴衣
名家好み浴衣
萬治ゆかた地
外十數種陳列

涼味溢るるばかり何卒御來觀の程偏に御願申上げます

夏物第一回涼味を、最も新しい柄の細小紋と絹友仙の階上

平町三丁目

三井吳服店

電話三十八 七五一番

由良乃助

平町四丁目平驛通り

永山酒造店小賣部

電話二〇七番

ユラノスケ粕取焼酎發賣

二合白瓶 貳拾五錢 (空瓶交換仕候)

内臓外科 骨關節外科 整形外科 婦人科

専門 藤本 順

院長 木村寅次郎

平町新川町 外 科 産婦人科

木村醫院 電話一六四番

當選御禮

内郷村々會議員改選に際し不肖をも顧みず立候補致し候處幸ひ當選の榮を擔ひ候は各位の御同情によるものと深く奉感謝候先は乍略儀不取敢以紙上御厚禮申上候

内郷村大字小島字竹ノ内

加藤 丈夫

當選御禮

内郷村大字小島字新町

佐藤 三平

内郷村の當選者

無産黨三名落選す

石城郡内郷村の選挙は八日執行されたが有権者總数は四千二百廿二名にて棄権者數二百廿五名に過ぎず投票總數は四千七票、此の内有効投票數三千九百四十四票無効投票數六百三十三票にて無産黨からは社民一名當選し、社民二名、人衆一名落選し、未だ々々無産黨の進出は前途遼遠の觀がある因に當選者は左記の如くである

- 二二〇 佐藤 三平
- 一六四 高野 重吉
- 一六三 小野 辰猪
- 一六二 山崎 辰猪
- 一五五 島田 兼吉
- 一四九 龜田 修造
- 一四八 湊 三郎
- 一四四 南 波
- 一三八 志賀 留吉
- 一三三 加藤 丈夫
- 一三一 平田 良三
- 一一九 長谷川 幾之助
- 一一六 馬目 子之松
- 一一四 猪狩 喜平次
- 一一三 鈴木 左一
- 一一〇 菅波 忠治
- 一〇八 沼田 濱之助
- 一〇三 金澤 爲喜
- 一〇二 石橋 弘毅
- 一〇〇 小松 定次郎
- 〇〇八 宮本 鐵太郎
- 〇〇七 大野 達也
- 〇〇四 生田 常弘
- 〇〇〇 久野 喜平
- 九二 加美山 武夫
- 八八 小南 不二男
- 七八 根本 金三郎
- 六七 井出 金三郎
- 六六 廣瀬 貞
- 六〇 今泉 清藏
- 四七 七加藤 木誠
- 三小 峯竹 次郎

満蒙事情

廿七日平町に
本縣主催の満蒙事情講演會

並に満蒙事情紹介の活動寫眞會は来る二十七日平町元石城郡會議事堂に於て開催講演は満蒙研究家として知られてゐる長野朗氏である

大敷網豊漁

獲れた大鯛

磐城沿岸の大敷網は數日來鯛の大漁に賑はつてゐるが去五日小名濱の同網は八千貫を上げ濱取引十三割から十四五割を唱へたるに引續いて六日は豊間大敷に於て八千貫双葉郡久の濱の同漁が四千貫の大漁を占め平均十二三割に下落したが目下の海況では向後同漁の豊富を見込まれてゐる

春蘭出廻り

十日前後か

石城郡内の春蘭は十日前後から出廻るものと見られてゐるが相場は六十八掛から七十掛であらうと

遅れる田植

七月上旬頃か

石城郡下における農村の現況を聞くと天候不順で苗の發育が極度に悪くそれに過般の暴風雨害に祟られ腐敗等が発生し例年なら十五六日頃から田植が始まつたのに今年はグツト遅れて七月上旬になるものと噂されて

勞役を望む

不景氣から

石城郡内郷村宮於木長士(三)は賭博罪で罰金四十圓湯本町字三國阿部徳家(七)は同百圓同町八仙薄井清五郎(三)は同三十圓田人村小野庄三(五)は狩獵法違反で五十圓と何れも平區から言渡されたが右四名は罰金を納めることが出来ないといふので勞役に服することになつたが昨年からは本年にかけ



イカ 絹

(下)

三葉はきれいに水洗し、一

罰金を納める代りに懲役を志願する者が非常に増してゐると平檢事局で苦笑してゐた

列車に轢れ

訓導が惨死

三井坑専用線で

石城郡磐崎村大字岩ヶ岡字山王作居住の同村第二小學校訓導岩崎清雄(五)氏は八日午後三時五十分ころ自轉車に乗つての歸途同村字藤原界堂地内の三井炭坑専用軌道踏切を横断せんと踏切に差かゝつた刹那三井炭坑から湯本驛に向つて専用列車が暴進して來たので直に停車せんとしたが及ばず遂に轢断されて惨死したが同所はカーブで前方の見通しがつかず機關手もそれと氣がついた時は既に間に合はなかつたものである

今夏の帽子

流行色色々

▽ストローハットは帽子の中心、熱湯に曬少し加へた中でざつとゆで水に取りさらして後水氣をとりこまかに刻んでおきます。さして餛飩の中に以上の玉子、人参、三ツ葉等をませ合せ前のイカの酢をとつた中に御飯を程よく詰め暫くそのまゝ軽くおしをして置いて後三分位の厚さの輪切りに

疑心暗鬼は……

トンダお茶番

選挙戦後日談 (中)

處でコノ小野義一と云ふ青年は其の名の示すが如く仲々義には堅い男であるが、時々心にもない茶目演じては世の疑解を招く、殊に一時は手に負へぬ亂暴者であつた爲めそれが今でも祟りを爲してトンダ眼鏡で知られる事もある、而して別段にどうと云ふ程悪氣がある譯ではなく寧ろ若さの元氣に委せて思はぬ不覺をとりどちらかと云ひば稚氣満々たる可憐な青年なのだ。

收騒ぎの流言悲語が嵐の如く渦を巻く、此の時義一青年の胸中には例の茶目から出發しての悪戯氣がノロノロと頭をもたげて體中の血をうづくのであつた彼れは斯ふして荒川氏の夫人に「見せ金として百四五十圓の金が必要なんですが直ぐお返しします、一寸二三日でよいのですからお借し願ひないでせうか此の見せ金が無いと男の意地が通らないんです、そしてその金は紙幣で願ひ度いんです、それも五圓紙幣をなるべく多く入れて巾に厚みを持たし度いんです」と頼み込んだ

それは選挙期日も迫つて愈よ明日が投票日といふその前日廿九日の事であつた荒川夫人は男勝りのシツカリ者であることは近所の人達の噂する處であるが、義一青年の「男の意地が通らぬ」の一語を聞くに及んで其の金の利用先を深くも追求せずに、手の切れさうな百五十圓の紙幣束を義一青年の眼の前に投げ出した、喜んで彼れの罪のないお茶番劇は愈よこれから幕が開かれるのである (續)

大浦チブス

ますく 蔓延

石城郡大浦村大字上仁井田

募集

文藝其他投稿を募集します

局では非常に狼狽し四倉署と協力してこれが豫防にためてゐるが容易に終熄の模様がないと

明日の天気

北東の風 天気悪くなる